

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血による健康状態への影響に関する検討 (献血者保護のための献血者体内貯蔵鉄の動態に関する検討)
研究期間（西暦）	2018年4月～2020年3月
研究機関名	日本赤十字社 血液事業本部
研究責任者職氏名	技術部 医務採血課長 荒木あゆみ

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

日本では、献血の間隔ならびに年間の献血回数に一定の基準を設けていますが、現在の基準が献血していただく方の健康を維持するために適切かどうか検討することを目的とします。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：なし

献血血液等の情報：性別、年齢、血球計数検査結果（赤血球数、ヘモグロビン値、MCV、MCH、MCHC、血小板数）

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《情報の具体的な使用目的・使用方法含む》

男性は、平成28年4月に全国で400mL全血献血を行い、平成29年3月までに合計3回の400mL全血献血実績がある方、女性は、平成28年4月～平成29年3月までに、全国で400mL全血献血を行った方のうち、合計2回の400mL全血献血を行っている方を対象とし、献血者情報を抽出します。

抽出後、赤血球数やヘモグロビン値等の経時的変動の解析を行います。なお、解析は、献血者コード及び採血番号を削除して個人が特定できない状態で行います。

5 検査結果等の使用の拒否について

使用する情報をシステムより抽出する前で、個人の特定ができる状態であれば研究使用の拒否が出来ます。ご自身の情報の使用をご希望されない方は下記のご連絡いただければ、その方の情報は削除して利用しません。

6 上記5を受け付ける方法

平成30年5月7日までに、日本赤十字社ホームページ問い合わせフォームから、必須項目を入力のうえ、下記「本研究の関する問い合わせ先」担当者あてに、あなたの献血者コードと生年月日をお知らせください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 血液事業本部 技術部 医務採血課
担当者	荒木あゆみ